

2018年(平成30年)6月27日(水曜日)

品質管理優秀賞に4社 日測協が北海道地区表彰式



日本測量協会(矢口彰会長)は26日、札幌東急REIホテルで公共測量品質管理優秀賞の北海道地区表彰式を開いた。基準点測量部門で協和コンサルタント(本社・旭

品質管理に優れた道内4社が盾を手にした。

川、ズコーシャ(同・帯広)、タナカコンサルタント(同・苫小牧)の3社、地図作成部門で北海道朝日航洋(同・札幌)の計4社が受賞し、記念の盾を受け取った。

公共測量の成果検定業務を担う第三者機関の日測協が、一定条件の成果品で検定を受けた企業のうち、品質管理が特に優秀な企業を顕彰している。

ことしの第14回表彰は、2017年度検定分が対象で、全国で32社が受賞し、このうち道内から4社が選ばれた。盾と副賞を伝達した大塚義則日測協北海道支部技術センター長は「公共事業に先行して実施する公共測量の成果は、インフラ整備の品質にも直結する。今後も技術の研ぎと品質確保に努め、地理空間情報の整備に貢献してほしい」と各社の技術力をたたえた。

にまい進してきたことが成果に表れた」と喜びをかみしめた。

2年連続3回目となるズコーシャの関本裕至社長は「この賞は、測量技術者にとって何よりの励み」と感謝。12年ぶり2度目のタナカコンサルタントの田中雄太社長は「全ての原点となる品質に第三者から評価いただいた」と喜んだ。

地図部門で2年ぶり2回目となった北海道朝日航洋の大宮達也社長は「今後も有意義な提案で受注を重ね、連続受賞を目指したい」と話した。

基準点部門で、初受賞となった協和コンサルタントの上村正信社長は「社を挙げて技術の向上

日測協「公共測量品質管理優秀賞」

道内4社の成果たたえる

基準点、地図作成部門で栄冠

日本測量協会の第十四回「公共測量品質管理優秀賞」に輝いた㈱スコーシヤ(帯広、関本裕全社長)など道内四社に対する表彰式

が二十六日、札幌東急R.E.ホテルで行われ、品質の高い測量成果を納めた各社を顕彰した。

「優秀賞」に輝いたのは

基準点部門で、㈱協和コンサルタント(旭川、上村正信社長)、スコーシヤ(二年連続三回目)、㈱タナカコンサルタント(苫小牧、田中雄太社長、十二年ぶり二回目)の三社。地図作成部門では㈱北海道朝日



表彰盾を手に記念撮影する受賞各社の代表

評価を得た。全国では北海道を含め三十二社が受賞した。

表彰式では、同協会北海道支部の大塚義則技術センター長が、受賞各社に表彰盾と副賞を贈り、優れた品質管理技術をたたえた。

大塚センター長は「公共測量は各種公共事業に先行して実施され、その測量成果の良否は後続のインフラ

整備の品質に直結する」と述べ、その重要性を強調。各社の成果品の精度の高さをたたえ「今後も測量技術の研鑽と品質確保の向上に努め、社会基盤に欠かせない地理空間情報の整備に貢献を」と一層の活躍を期待した。

この表彰は品質法施行を契機に十七年度に創設。一定基準を満たす年間三物件以上の検定を同協会に受けた作業機関等を対象に、品質管理が特に優秀な測量会社を表彰している。

二十九年度は道内で基準点三十七社、地図六社が実績基準を満たし選考対象となった。基準点部門の対象が前年度を四割以上回った点について、同支部は「JVが多く、表彰対象となる実績基準を満たさなかったことが要因」と分析している。